

城陽市障がい者自立支援協議会

第3回 療育部会報告書

平成 23年 12月 26日

報告者 部会長 籠谷 光彦

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成 23年 12月 26日 午前 10:00-11:30
場 所	城陽市役所 4階第4会議室
出席者	相談支援事業所 (ういる、はーもにい) 障害福祉サービス提供事業所 (あっぷ、社会福祉協議会、みんななかま)
検討課題	○研修実施「発達障がい者の社会参加について」 +意見交換 ○今年度会議開催スケジュールについて ○来年度会議開催内容検討

【議事録】

1. 全体会の報告
2. 研修実施「発達障がい者の社会参加について」
【学齢期を通して成人するにあたり、生活上問題となりやすい2時障がいやその背景としての発達障がいの説明を実施。日常で起こる問題に対処する為のライフスキルについて学び意見交流】
意見として…
 - * 普通学級に通う児童で、他人が言った言葉を本人が字義通り受け止めてしまう事で不登校になったケースがあった。ある日突然通学できるようになったが、支援者はどのように伝えたらよいか困った。
→ケースの振り返りによって‘なぜ?’が見えてくるし、本人の困っている事が分かるのでは。本人のつまずきを知る事が大事。そのためのものとして支援ファイルを活用させる。
 - * 発達障がい者（特に高機能自閉）に対応している施設が少ない。また当事者も通所に対して違和感を持つ場合が多い。高機能自閉の方同士が集まれる場があまりなく必要だと感じている。
また集団は、本人を中心としたネットワークの場であり、本人自身の姿の気づきの場となる。
3. 今年度の部会実施スケジュールについて
 - * ケース事例の検討 成人期のケースを通して療育の視点からの気づき
 - * 親なき後の支援としての入所施設やグループホームの先進施設の見学
 - * 精華町の児童デイの施設見学
4. 来年度の部会について
 - * 具体的なケース事例の検討を通して連携の質の向上を図る
 - * 先進施設の見学実施 *支援学校、支援学級との連携